

03.06.2009

ブルガリア最初の新型インフルエンザ感染者情報及び感染症広域情報 (6月3日現在)

((ブルガリア最初のインフルエンザ感染者情報))

6月2日付ブルガリア保健省の公式ウェブ・サイトで、ブルガリア最初の新型インフルエンザ感染者が確認された旨発表されています。

関連プレス報道を含め以下のとおり概要をお知らせします。

1. 新型感染症対策本部 (システム) は6月1日、ブルガリアにおける最初のA (H1N1) 型インフルエンザ確認例を登録しました。

感染者は、米国在住のブルガリア人で、ニューヨークからアムステルダム経由で5月27日にソフィアに到着、同29日に最初のインフルエンザ症状が現れ、30日に一般医の診察を受けました。患者は、現在隔離され抗ウイルス剤を投与されており、症状は良好です。

4人の濃厚接触者が特定され、検査中 (保健省は3日、4人とも陰性と発表しています。) で、監視下にありますが、現在のところ誰にも症状は現れていません。

2. B T A通信社や TRUD 紙等の報道によりますと、感染者はブルガリア中央部や北のパブリケニ市出身の米国ペンシルベニア大学男子学生で帰省中に発症、現在同地域のヴェリコ・タルノヴォ市にある医療機関でタミフル投与による治療を受けており、空港に出迎えた友人1人が病院で、家族等は自宅でそれぞれ監視下におかれています。

((感染症広域情報))

1. 2009年4月30日、世界保健機関 (WHO) は、パンデミック警戒レベルをフェーズ4から5へ引き上げました。

新型インフルエンザが確認された国・地域 (63か国1地域 (日本を除く)) については、別途、「感染症危険情報」を発出しています。新型インフルエンザの感染が確認された国・地域に渡航を検討されている方は、渡航先の感染状況及びWHOの情報等最新情報を入手し、十分注意してください。また、これらの国・地域に滞在される方は、今後WHOの情報にも留意しつつ、感染防止対策を徹底するとともに、感染が疑われた場合には速やかに医療機関で受診してください。

2009年6月3日午前10時 (日本時間) 現在、感染が確認された旨WHOまたは政府当局が発表した国・地域は以下のとおりです。メキシコ、米国、カナダ及びコスタリカを除き、各国・地域とも死亡者はありません。

(1) WHOが同時点で公表している感染状況

感染が確認された国・地域 62か国1地域、感染者数 17,410人 (うち115人死亡)

メキシコ

感染者数 5,029人 (うち97人死亡)

米国

感染者数 8,975人 (うち15人死亡)

カナダ

感染者数	1,336 人（うち 2 人死亡）
コスタリカ	
感染者数	37 人（うち 1 人死亡）
日本	
感染者数	370 人（我が国厚生労働省によれば合計 384 人の感染確認）
オーストラリア	
感染者数	297 人
チリ	
感染者数	250 人
英国	
感染者数	229 人
スペイン	
感染者数	178 人
パナマ	
感染者数	107 人
アルゼンチン	
感染者数	100 人
中国（香港を含む）	
感染者数	52 人（中国衛生部発表は 33 人、香港衛生署発表は 23 人）
エクアドル	
感染者数	39 人
ペルー	
感染者数	36 人
韓国	
感染者数	33 人
イタリア	
感染者数	29 人
ドイツ	
感染者数	28 人
エルサルバドル	
感染者数	27 人
フランス	
感染者数	24 人
コロンビア	
感染者数	20 人
イスラエル	
感染者数	19 人
ブラジル	
感染者数	18 人
クウェート	
感染者数	18 人
フィリピン	
感染者数	16 人
ベルギー	

感染者数	12人
グアテマラ	
感染者数	12人
ウルグアイ	
感染者数	11人
ニュージーランド	
感染者数	9人
スイス	
感染者数	8人
パラグアイ	
感染者数	5人
シンガポール	
感染者数	5人
キューバ	
感染者数	4人
ギリシャ	
感染者数	4人
アイルランド	
感染者数	4人
ノルウェー	
感染者数	4人
ポーランド	
感染者数	4人
スウェーデン	
感染者数	4人
トルコ	
感染者数	4人
ボリビア	
感染者数	3人
フィンランド	
感染者数	3人
オランダ	
感染者数	3人
ルーマニア	
感染者数	3人
ロシア	
感染者数	3人
ドミニカ (共)	
感染者数	2人
ホンジュラス	
感染者数	2人
ジャマイカ	
感染者数	2人
マレーシア	

感染者数	2人
スロバキア	
感染者数	2人
タイ	
感染者数	2人
ベネズエラ	
感染者数	2人
オーストリア	
感染者数	1人
バハマ	
感染者数	1人
バーレーン	
感染者数	1人
キプロス	
感染者数	1人
チェコ	
感染者数	1人
デンマーク	
感染者数	1人
エストニア	
感染者数	1人
ハンガリー	
感染者数	1人
アイスランド	
感染者数	1人
インド	
感染者数	1人
ポルトガル	
感染者数	1人
ベトナム	
感染者数	1人
台湾	
感染者数	12人

(2) 現地政府のみが発表している国 (6か国)

アラブ首長国連邦	
感染者数	1人
レバノン	
感染者数	3人
ルクセンブルク	
感染者数	1人
ブルガリア	
感染者数	1人
エジプト	

感染者数 1人
ニカラグア
感染者数 1人

また、6月3日午前10時現在、感染疑いがある国は以下のとおり（報道含む。4か国）です。

ベリーズ、コンゴ（民）、アルバニア、ウクライナ

2. 新型インフルエンザとは

動物のインフルエンザウイルスがヒトの体内で増えることができるようになり、継続的にヒトからヒトの感染がみられるようになった場合に、このウイルスが感染して起こる疾患を新型インフルエンザとといいます。

今般、メキシコや米国等で感染が確認されたインフルエンザ（A/H1N1）は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する法律」第6条7号に規定する新型インフルエンザに位置づけられたところです。

3. 新型インフルエンザの症状

発熱、倦怠感、食欲不振、咳など、通常のインフルエンザと同様の症状があらわれます。また、鼻水、咽頭痛、吐気、嘔吐や下痢などの症状を訴える患者もいます。

4. 日本帰国時の健康チェック

わが国入国前の検疫において、インフルエンザ様症状がある場合には検査を行い、必要に応じ、隔離等の措置がとられる場合がありますので、到着時の検疫所の指示に従ってください。なお、帰国時に高熱、咳症状がみられる場合には検疫所の健康相談室にお申し出ください（帰宅後に同様の症状が現れた場合には、最寄りの保健所に相談し、感染地域に渡航していた旨をお知らせください。）。

5. 感染防止策

下記の点に留意し、感染防止に努めてください。

- （1）十分な水・食糧の備蓄を行い、不要不急の外出は控える。
- （2）外出する際は人混みを避ける。また、咳やくしゃみ等による感染を防ぐため、マスクを着用する。
- （3）積極的に手洗いやうがいを行う。
- （4）ウイルスは粘膜を介して感染するので、口、鼻、目などの粘膜部分に不用意に手で触れない。
- （5）発熱や咳などインフルエンザと似た症状がみられた場合には、現地の医療機関を受診する。

6. 海外における入国時の健康チェック

現在、多くの国においては、入国時の健康チェック（体温確認等）が行われています。その際、発熱、インフルエンザ様症状が疑われた場合には、新型インフルエンザ感染の確認等のため、一定期間停留を求められる場合がありますので、日本出発時に発熱等不調を感じられた場合には出発前に都道府県による[新型インフルエンザ相談窓口発熱相談センター](#)等にご相談されることをお勧めします。

(問い合わせ先)

○外務省新型インフルエンザ相談窓口

電話：(代表) 03-5501-8000 (内線) 4625、4627、4629

○外務省領事局海外邦人安全課

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 5140

○外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(携帯版) <http://www.anzen.mofa.go.jp/i/>

(関連ホームページ)

○厚生労働省ホームページ (新型インフルエンザ対策関連情報)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>

○世界保健機関 (WHO) ホームページ (新型インフルエンザ関連)

<http://www.who.int/csr/disease/swineflu/en/>(英語)

○CDC (米国疾病予防対策センター)

<http://www.cdc.gov/h1n1flu/>(英語)

○農林水産省ホームページ (新型インフルエンザ関連情報)

<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/ampo/buta.html>

**

○在ブルガリア日本国大使館

所在地：14 LYULYAKOVA GRADINA Str., SOFIA, BULGARIA

電話：(02) 971-2708

FAX：(02) 971-1167

ホームページ：<http://www.bg.emb-japan.go.jp>

**